



おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

13

2001. 3 Spring



「ザ・祭りインシドニー」へ参加

- ①ジョージストリートをパレード
- ②タンパリンパークで楽しく交流
- ③ステージ披露 お手玉演舞
- ④寄せ玉の演技に客席から歓声
- ⑤お手玉作りのあとはおり紙教室

特集

「ザ・祭りインシドニー」へ参加

1~2

- サンディエゴ大学でお手玉のワークショップ 3
- お手玉との出会いで得た私のLife Work 3
- 各支部で活発なお手玉普及行事
- ひろしまお手玉の会 4
- 高千穂おしゃみの会 4
- 山内病院お手玉の会 4
- 神戸お手玉の会 5
- とっとりのお手玉の会 5
- 各地でお手玉教室開く 6~7
- 須崎お手玉遊び大会 7
- 杉葉子顧問の講演会 7
- 第10回大会の子告 8
- 第11回大会の開催地募る 8
- 第2回指導者養成講座 8

19人で参加—ザ・祭りインズブリー

素朴なお手玉遊びとわらべうたが大人気 初めてのオーストラリア遠征は大歓迎を受ける

日本のお手玉の会は、平成二十二年二月一日、二日の両日、オーストラリアのシドニーで開催された「第五回 ゼ・祭り インズブリー」にはじめて参加しました。この夏祭りは、市民レベルの草の根交流をベースに、日本各地の祭りを通して日本の心や、伝統芸能を伝え、国際親善と世界平和を発信するものです。今年のテーマは「フレンズ」。日本からの参加は一回団体でした。

日本のお手玉の会では、本部新居浜から一人と、東京・横浜・大阪・広島・福岡・香川などから合計一九人を出発しました。真冬の出で立ちで、関西空港を後にアンセット航空八八二便に乗り込み、



▲パレードスタート前のせいぞろい



▲1日に3,000人がブースに



▲折つるができた

がらう促進しても、応じにくいのが一般的なのに、ステージが落ちそうになるほど観衆が殺到し、お手玉へのシドニー市民の高い関心がうかがえる」とのことでした。

- 【参加された方々】（敬称略）
 田長・宮中妻子 杉村治男 杉村美智子 石原斐子 今村シメコ 川元富美子 谷崎美智子 天野由子 天野久美 久保路子 久保紀子 井原由美子 高井博恵 森実満子 藤田イツ子 諸岡浩子 奥村千代子 高橋真澄 藤田石根



ブリスベンを経由して、二月一日、一時間余でシドニーへ到着。ゼラキラ光る真夏の太陽の下、一行は出迎えるバスに乗り、まずはマックオリーへ。そこから見る、白い大きな貝殻が開いたようなオペラハウスの景観が見事でした。旅なれたお手玉の会のメンバーは疲れもよそに、記憶も新たな二十世紀最後のオリビックのマラソンコースやオペラハウス、エキシビションセンターへと心算ませず。高橋尚子さんが走ったマラソンコースには、青い色の線が引かれたままでした。

前後祭は浴衣で参加
 夕刻からは、前後祭に備えて浴衣姿のメンバーが、王ちゃんウチワを音中に差し、ピチピチ笑顔で勢多うい。グリーンセンターへ向かいます。途中、ハーパーブリッジが大きな開き重厚な異文化を感じます。小雨降る静けさの中、しばしばたずみましました。前後祭会場では、祭りの実行委員長はじめ、ニューサウスウェールズ州政府、オーストラリア政府観光局、シドニー日本総領事館の方々からお祝辞をいただきました。つづいて実行委員

長のアンドリエトムソン様から、参加団体に感謝状が贈られ、日本のお手玉の会は、宮中妻子副会長が代表でいただきました。その場で、今村シメ子さんがお手玉の技を披露し、会場から「ウォーター」という歓声があがりました。

せいたくなシーフードディナーの後は、ダイナミックな打ち上げ花火、まるで世界中の空を光で照らすほどの色鮮やかさ、ダイリングハーバー一帯は、まさに音と光と花火のシンフォニー。そんな中で、言葉も届かぬほど身振り、手振りだけでなく地元の人々と交流を深め、もうずつと前から友達だったように楽しく笑顔で友好を深めました。

横断幕を持った若い天野久美さん、久保紀子さん、その後を三列に並んでメンバーがお手玉をゆりながら、ジョージストリートを行進です。日本が誇る童謡の「靴が鳴る」「あんながたごこさ」が、シドニーの夜空に心地よく流れます。沿道から「オーイ愛蔵」という熱い声援をいただきました。

石見博幸や阿波踊りのあとを歩くお手玉の行進を、地元の方々「あれは何だろう？」と興味深そうに見ていました。その興味が、お祭り広場に出向いてみようとというきっかけになったようです。

タンバリングパークに到着すると、花のアーチがあり、そこを通り抜ける団体が次々に紹介されます。そんな中「日本のお手玉の会の藤田さん」と呼ばれました。なんと、なんと、郷里の新居浜の下村さんが面会に来てくれました。やっぱり世界は楽しい回り舞台シドニーに来てふるさとの人に会えるのですから。

【親善の役割を果たす】
 ハワイやロサンゼルスと同じく、やはり世界と日本の珍しいお手玉を「見て、作って、遊ぶ」を体験することが魅力のようです。コーナーの中には、折り返もあり、担当した杉村美智子さんは、一歩も動くことができないほど汗びっしょりより指導にあたってくれました。

サンディエゴ・オテダマ・カイ（支部代表・ヒルマン愛子）は、昨年7月に発足しました。当面の計画として、US-JAPAN EXPO に参加する本部の支援活動と、University of San Diego（サンディエゴ大学：USD）の日本文化祭への参加を決めていました。

EXPO への参加につきましては、「おてだま」No.12 の特集に委ねるとして、ここでは、USD の日本文化祭への参加についてご報告いたします。

USD では、H.Sakai's Session（当会顧問・坂井弘孝様）で行う、Japanese Cultural Festival で、書道の後、約1時間、お手玉作りと実技のWorkshop を、12月5日に実施しました。

日本語を選択する48人の学生たちが、支部会員のキメ細かい指導と実演により、熱心にお手玉を作りました。なかには、針を持ったことのない学生もいましたが、全員がお手玉を完成させることができました。

当日は、外国語の先生方も、この状況を見に来られ、「他の大学でも、ぜひ実施して欲しい」との要望が出ました。支部としても、前向きに検討してまいりたいと思っております。

サンディエゴ支部 マネージャー 坂井 恭子

SD大学でお手玉ワークショップ 会員の指導で全員がお手玉を完成



▲ お手玉作りの一コマ



▲ 左から Nariko McDaniel さん、Linda Ring さん、坂井恭子さん、坂井弘孝さん

私は、お手玉に大きくかわりながら、お手玉を上手に操ることができません。母はとも上手なのですが、忙しい毎日のなかで、教わることはありませんでした。高度経済成長期という時代背景も影響があるのでしようか。練習をするのですが、なかなか上達しません。ところが、若い生徒は違います。お手玉のできない私が、口で指導するのですが、一〇分もすると、片手二個ゆりであれば二、三回はできるようになります。「すばらしい！」の一言です。「私の指導者としての口もまんざらでは」と、自負したくもなります。また、生徒たちがこれほどお手玉にはまるとは、予想外のことでした。

栗立西条農高校に赴任し、福祉系の科目にお手玉を取り入れ、はけ防止やリハビリのためのお手玉の遊び方として、「車椅子でもで

私とお手玉との出会いは、八年前にさかのぼります。前任校の愛媛県立新居浜西高校で、お手玉クラブの最初の顧問となったのがきっかけです。

その年、初めて参加した全国お手玉遊び大会で、クラブ員の一人が片手二個ゆり部門で個人優勝し、顕賞の韓国旅行に大喜びをしたことを思い出します。その時は、「ここまでお手玉にのめり込むとは、思ってもいないことでした。」



▲ HAT神戸を訪問、交流する

お手玉との出会いで得た私のLife Work

愛媛県立西条農業高等学校教諭

一宮 昌子

さるお手玉体験「や」健康な毎日のためのお手玉体験」などを考案し、老人施設や老人クラブの方々との交流を深めてきました。平成十一年からは、神戸で震災にあわれたお年寄りたちと交流を始めました。

募金活動など資金集めをし、長田区の「真野ふれあい住宅」の方々を、しまなみ海道経由で、平成十一年の第八回全国お手玉遊び大会に招待しました。また、平成二十二年度は、灘区の日A T神戸を訪問し、交流する機会を得ました。手作りのお手玉を、たくさん持っていきました。みなさん「なつかしい」と言って、とても喜んでくださいました。

そして、これまでの地道な活動が認められ、ブルデンシャルボランティア賞（全国賞）、デランターハート賞を受賞しました。また、ボランティアの心を表現した「ハートドリル・V」と題したパッチワークが、全国のコンテストでグランプリを受賞し、やりがいを感じている毎日です。

お手玉遊びの大会が近づくと、「キヤツ、キヤツ」と大きな笑い声をあげながら、お手玉の練習をしている生徒の姿を、あちこちで目にします。「お手玉なんか」と言っていた生徒たちが、夢中になっているのです。勝負に負けるかと悔しがり、来年への決意を語り合っています。ここまで来るのに、障害がなかったわけではありませんが、今では生活科学科の名物となっています。

お手玉との出会いがなければ、今はありません。多くの方々の援助で、私たちの活動が成し遂げられています。皆様にご感謝するとともに、私も、若い人の可能性を引き出すための援助者となれるよう、これからも前向きな取り組みをしていこうと思えます。それが私の仕事でもあるのです。

（生活科学科科長）

各支部で活発なお手玉普及行事

「お手玉展示会」GJXJ

ひろしまお手玉の会 森下 恵子



今回の展示会は、国営福北丘陵公園の「里山家」二世の住居敷きのすべての部屋にお手玉を飾るといって大規模な取り組みでした。

依頼を受けた時、威厳と格式のある広い屋敷に、手の平に包み込めるほどの小さなお手玉を、どう展示したらよいか検討もつきませんでした。グループの代表者が集まり、

神話のふる里でのお手玉

高千穂おじやみの会会長 伊藤 敦子



▲ 神話の里フェスティバルにお手玉体験コーナー開設

みなさんこんにちは！
「高千穂おじやみの会」でユース。私達の町高千穂は、宮崎県の最北部です。九州のおへそ、つまり中心に位置しています。日本の発祥の地、神話のふる里です。おとなりには「あんながたごこさ・肥後守」の熊本県です。「流ればせながら、この紙面をお借りして、「熊本おじやみの会」さん、優勝オメガアトウ（ごさい）さん、

が、無料でふるまわれました。全国の会員のみなさんも、ぜひおいでいただきたかったです。
神武天皇様のような風ほうの武田会長様や、藤田副会長様との偶然の出会いで、平成10年に「日本のお手玉の会」のお仲間に入れていただきました。この出会いのおかげで、ますますお手玉のつきあいが深まりました。

- ◎小学校・福祉施設などの訪問
- ◎生涯学習市民のつどいにお手玉展示
- ◎神話の里フェスティバルにお手玉体験コーナー開設
- ◎国際交流会 ワークショップに参加
- ◎お手玉を使って外国のジャグリング体験などを

意見を申し合いました。里山家の間取りを下見し、飾りのお手玉の種類と個数、必要な小道具などを書き出して役割分担を決めました。

展示期間中の来客者は、平想以上に多く大変好評でした。来客者の感動の言葉や、ねぎらいの気持ちが寄せられた。最後のベテランで書き続けた芳名帳を手にした時のうれしさと満足感は、今も鮮明です。

今回の展示会の最大の成果は、東園された方々に喜んでいただけたこと、そして皆の協力と思いやりで、達成感と喜びを共有できたこと、会員六九人の賛同と支援の賜物と、うれしく感謝の気持ちで一杯です。

「山内病院お手玉の会」が16番目の支部として誕生 発会式に「お手玉教室」を開く

日本のお手玉の会の16番目の支部として、平成12年12月6日、今治市片山三丁目に「山内病院お手玉の会」が発足しました。メンバーは、支部長の越智宣子さんと10人です。発足当日は、山内病院のデイケアセンターで発会式が行われ、支部会員をはじめ通所者など60人が集まり、お手玉教室が開かれました。

開会に当たって、山内高院院長から「お手玉遊びを笑顔で楽しみながら、お互いに交流を深め、精神的にも、肉体的にも健康を保ち、増進させるように努めましょう」とあいさつがありました。本部からも応援にかけつけ、参加者と一緒に、お手玉遊びを楽しみました。この発会式の様子は、NHKのテレビニュースで取り上げられました。

支部の活動が情報誌に

布の包み、ふれあいを彩り

神戸お手玉の会事務局長
北村 義雄

神戸お手玉の会が、生活共同組合コープこうべの情報誌「ステーション」に取り上げられた。



「ステーション」平成13年2月号の「いま、元気人間。」で、「布の包みを宙に舞わせて、ふれあいを彩ります。」とのタイトルで、神戸支部の活動状況が、カラーページで紹介されています。

神戸市須磨区竜が台小学校でのお手玉指導、全国お手玉遊び大会や全国生涯学習フェスティバルへの参加など、神戸お手玉の会の積極的で多彩な活動内容が、詳しく紹介されています。

神戸支部・神戸お手玉の会の活動が生活共同組合コープこうべの情報誌「ステーション」に取り上げられた。

「ステーション」平成13年2月号の「いま、元気人間。」で、「布の包みを宙に舞わせて、ふれあいを彩ります。」とのタイトルで、神戸支部の活動状況が、カラーページで紹介されています。

神戸市須磨区竜が台小学校でのお手玉指導、全国お手玉遊び大会や全国生涯学習フェスティバルへの参加など、神戸お手玉の会の積極的で多彩な活動内容が、詳しく紹介されています。



10回の節目の大会に望む

とっとりのお手玉の会
会長 福田 環

全国お手玉遊び大会は、年ごとに充実し、ほんとうにうれしく、何か我がことのように思われて、あれこれと考えている自分に気がきます。私を含め、とっとりのお手玉の会の会員で話している、大会への希望などが出てまいりました。年頭に当たり、それらをまとめてご報告いたします。

一、大会前夜の取り組み
大会前日の交流会は、いまのところいちばん楽しみにしております。私どもの一致した希望は、夕食を中心にしたものではなく、支部と支部の交流、お手玉の技、会の取り組みのあれこれ、それぞれ特色のある内容の

香川県大野原町の婦人会・訪問研修



昨年十二月六日、香川県三豊郡大野原町から、婦人会のみなさん三六人が、バスで日本のお手玉の会にお手玉遊びの研修にこられました。この日、日本のお手玉の会では、シドニーと今治に二つのチームが出かけていましたので、天野征郎副会長と新居浜市川東老人福祉センターおじやめの会の皆様が、指導

ものを望んでいます。その交流の中から、ひとつでも多く吸収して帰りたいと思っています。会場を提供いただくことでのいいのです。前夜の行事のお心づかいが、大会準備のための連日のお疲れと重ならないよう、くれぐれも配慮いただきたいと思うものです。

二、競技中心の大会運営
大会の運営は、技を中心とした内容で特色を出すことは、初心の方には興味深いと思います。しかし、一〇回という一区切りの今年には、また競技競争ということも前面に出るものであって、毎回参加している人にも興味深く受け入れられるものを、工夫していただければと思います。

たとえば、お手玉遊びの基本といいますが、一側のお手玉から始まるお手玉遊びの楽しみ方を、参加者全員で体験でき、楽しみ、地域に持ち帰ることができるようご配慮いただければ幸いです。

に当たりました。お手玉の作り方、遊び方をはじめ、お手玉演舞の披露もあって、大野原町婦人会の皆様は、存分にお手玉を楽しみました。参加者した大野原の矢野サツキさんから、日本のお手玉の会と、おじや

みの会にあてて、次ぎのようなお便りをいただきました。

「先日は、ご迷惑もかえりみず、大勢でお伺いしましたのに、あたたかくお迎え下さり、長時間いろいろとご指導いただきまして、誠にありがとうございました。」

皆様方のご活躍の様子には、新聞やラジオの報道で、度々見聞きしておりました。それがこの度ようやく実現し、参加者一同、大変よろこんでいます。帰りのバスの中でも、お手玉や昔なつかしい遊びについての話がはずみましたし、「帰ってすぐお手玉を作り、家族と一緒に楽しんでいる」と、この報告も寄せられています。

婦人会としましては、子どもたちとの交流に、老人施設の訪問に、会員同士の親睦に、個人の楽しみに、などいろいろなところで取り入れたいと、いま、夢をふくらませています。

これからも、お教えいただくことがあると思いますが、その節はよろしくお願いをいたします。最後に、皆さま方の益々のご活躍と会のご発展を、心よりお祈り申し上げます。」

各地でお手玉教室開く

えひめじぶもの城で「お手玉遊び」



二月二十五日(日)、えひめじぶもの城の「お手玉遊び」へ本部より五人で出かけました。一時三〇分より多目的ホール、あいあい児童館で、お手玉アモンストレーションをしました。ホールに集まったお子様連れ、約一〇〇名にお手玉を二個ずつ配り、約二〇分の間みんな一緒にお手玉歌に合わせて二個、二個とゆりました。お手玉の達人、藤田福三さんの三個片手ゆりや両手五個ゆりには、会場いっぱい拍手がありました。

ポランティアルームで行われ、当日はお手玉二個分までの材料が無料(えひめじぶもの城負担)でした。布を選ぶ時の目の輝き、自分で作ったお手玉を持って一番最初にゆるときは、まるで宝物でも扱うような、真剣な様子。また、小さな幼稚園の子どもたちが、寄せ玉遊びをとっても気に入った様子でした。オサラをする時にきれいに止まると、小さな両手で玉を寄せてくる仕事には、見とれてしまうほどでした。ウーン誰かこのシーンを早くカメラにおさめて!と願うほどに、心ゆり動かされる光景でした。

また、三歳くらいの女の子は、両親と一緒に参加し、親子で玉を投げ合いながら「あつ、お手玉が手にのった、のった」と、

それはそれは愛らしい姿。思わず私も嬉しくなりました。そして、帰る時には「ありがとう」のほのめかして一日でした。

お手玉で外国の人とお友だちになろう 姫山小学校でお手玉の講習会を開く

松山市立姫山小学校で、一月二〇日(土)、「姫山チャレンジタイム」として、お手玉の講習会が行われました。この講習会は、生徒たちが、地域の入道と、父兄、外国人など学校外の方に講師をお願いして開いているものです。

今回は、三、四、五年生の「正見遊び」と「外国の人と友だちになろう」の二つのグループが共同で、日本のお手玉の会に講座依頼があり、本部から三人

山間に歓声がこだました 豊茂ふるさと祭りでお手玉大会



愛媛県喜多郡長浜町の豊茂小学校の校庭で、昨年十一月一二日、「豊茂ふるさと祭り」

が開催されました。お祭りには、町民をはじめ大阪、九州からの遠来お客様など一、五〇〇人余りが参加し、歌謡ショーやお手玉遊び大会などが行われ、日本のお手玉の会からは三人が参加して、お手玉大会のお手伝いをしました。グラウンドで行われたお手玉大会には、小中学生からおばあちゃんまでが参加し、笑顔と歓声の中で楽しく行われました。グラウンドを取り巻いたテントでは、農作物をはじめ、うどん、焼きそば、すしなどの販売もあり、一日中にぎわいました。フィナーレは、参加者全員を対象とした豪華賞品の抽選、もち投げがあり、夕刻までにぎやかな歓声が、山間にこだましていました。



松山市立小野中学校では、平成二二年一月二日文化祭があり、劇や部活動、ステージ発表、体験イベント、展示など、各部門で工夫を凝らした発表があり、元気な中学生と一日過ごしました。お手玉の披露や、体験コーナーも先生、もちろん校長先生も、保護者、地域の人たちにも挑戦してもらいました。お手玉クイズや体験コーナーもあり、お手玉教室お手玉遊園地大人も夢中になっていた姿が印象に残りました。

「家に帰って、おばあちゃんや、お父さん、お母さんと一緒にお手玉をしました」など、かわいいうれしそうに両親に手をひかれて帰っていきました。とてもほのほのとした一日でした。

文化祭で「お手玉披露」 松山市立小野中学校

ナードも設けられ、ステージ発表では、お手玉の会本部より二名と生徒さん一五名による、お手玉実演両手二個ゆり、片手二個ゆり、片手二個利き手と反対の手も、さらに両手三個ゆりに挑戦。

講習会の後、受講した生徒さんから、お手玉をたくさんいただきました。「楽しかった」「言葉が話せなくても、相手のことを思う心があればお友達になれることがわかった」「外国のお友達をたくさんつくりたい」「家に帰って、おばあちゃんや、お父さん、お母さんと一緒にお手玉をしました」など、かわいいうれしそうに両親に手をひかれて帰っていきました。

須崎お手玉遊び大会

須崎市

「お手玉遊び大会」が須崎市で開かれ、五十人参加の盛り上がりを見せた。須崎市、いわし、ふたつ折つとりの須崎お手玉の会主催。

世代を超え お手玉遊び

150人 達人の妙技にくぎ付け



大会には「日本のお手玉の会」(須田信之助)や「日本のお手玉協会」(藤田石根)など、日本のお手玉の会が参加し、須崎市、いわし、ふたつ折つとりの須崎お手玉の会が主催した。大会には「日本のお手玉の会」(須田信之助)や「日本のお手玉協会」(藤田石根)など、日本のお手玉の会が参加し、須崎市、いわし、ふたつ折つとりの須崎お手玉の会が主催した。

達人の今村さんが「あっぱれ日本一」に出演

お手玉の達人・今村シメ子さんが、テレビ東京の人気番組に登場します。番組は、堀正章と爆笑問題の司会で知られる「あっぱれ日本一」です。今村さんは、お手玉名人として登場します。2月19日、20日に、新居浜市での今村さんと、老人ホームや女子中学生のお手玉などを取材をし、3月1日には東京のスタジオでの録画撮影を終わっています。

放送日は、関東地区が最初で4月18日です。その他の地区は、その後となります。どうぞ、ご覧ください。

リーククラブ
日本のお手玉の会



「海外から見た日本」を語る

杉葉子顧問の講演会を開く

日本のお手玉の会顧問の杉葉子さんの帰国に合わせて、10月25日、リークローヤルホテル新居浜で講演会が開かれました。講演会は、新居浜市倫理法人会主催の特別講演会として開催し、新居浜南ローヤルクラブが共催、新居浜市文化協会、新居浜アメニティ倶楽部、日本のお手玉の会が後援しました。

講演に先立ち杉さんが主演した映画「青い山脈」が上映されました。懐かしい映画

お手玉の普及活動と遊び方を紹介

新居浜東高校で社会人活用推進事業

新居浜東高等学校では、昨年12月7日、平成12年度高等学校社会人活用推進事業が行われ、日本のお手玉の会が講演とお手玉遊びの指導



を担当しました。この事業には、全校生徒と教職員あわせて、200人が参加し、日本のお手玉の会では、武田信之会長が「国語や言葉の壁を越えて心の交流―お手玉は世界の無形文化財!―」と題した講演を行い、藤田石根副会長、お手玉名人の今村シメ子理事がお手玉遊びの指導に当たりました。

講演会は、「お手玉遊びは、おばあちゃんから孫へと伝えられきた日本の伝承遊びであって、三千年の歴史をもつ世界の無形文化財でもある。このお手玉の普及活動を通して、世代交流、国際交流を図ろうと、新居浜市に本部を置く日本のお手玉の会が、全国、世界に向けて情報発信している」と話しました。

さらに、お手玉の普及活動から得たものを、高校生に次のように呼びかけました。「国語や言葉の壁を越えて心の交流」の項では、「お手玉で心のキャッチボール、話せなくても心は通じるもの、感謝と感動する心を忘れない」と強調。「夢を掲げて努力すれば花びらく」の項では、「夢をより具体的なものにする、鉄壁の城にも崩す糸口がある、具体的な行動に具体的な答えが」と、体験を交えて高校生に、熱く話しかけました。

つづいてのお手玉遊びの体験では、宇都宮博昌校長と生徒や先生の代表10人が舞台上がり、藤田副会長と今村理事の指導で、お手玉遊びに興じました。講演を聴いた出席者から、代表者のエピソードを聞き、大きな拍手と歓声があがり、ほほえましい事業となりました。

第10回全国お手玉遊び大会

とき 2001年9月9日(日)
ところ リーガロイヤルホテル新居浜



第9回大会の風景。第10回大会は盛大に…

第11回大会以降の 開催候補地を 募集します！

日本のお手玉の会が設立され、全国お手玉遊びを毎年、新居浜市で開催し始めて10年目(回目)を迎えます。お手玉遊びのさらなる普及のため11回目からの全国お手玉遊び大会開催候補地を下記により募集します。

1. 募集締め切り …… 2001年6月末日
2. 候補地の決定 …… 2001年7月末日
3. 応募の方法 …… 希望団体は日本のお手玉の会本部に応募用紙がありますので請求してください。
4. 開催マニュアル等 …… 本部で作成をします。

第2回指導者養成講座開催

多くの方の参加をお待ちしています。

お手玉遊びの第2回指導者養成講座を開催します。今回は、「楽しいお手玉へのアプローチ」として、対象者別の項目を加え、期間は2日間としました。たとえば、教育関係では、幼児、中高生向け、老人福祉関係、地域イベントなど、対象別の指導方法を設けています。多数のご参加をお待ちしております。

日程は下記のとおりです。

開催日：平成13年3月31日(出)～4月1日(日)

10時～15時

会場：愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

(アメニティハウス内) 日本のお手玉の会

講師：日本のお手玉の会

参加費：3000円

申込方法：〒住所、氏名、電話番号を記入の上、
葉書又はFAXにてお申し込み下さい

申込期限：平成13年3月26日

申込先：〒792-0811

愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

日本のお手玉の会 事務局

TEL・FAX 0897-36-0600

詳しくは事務局にお問い合わせください。

お手玉(玉ちゃんグッズ)

手作り10種類のアイテムを取りそろえています。本部までお問い合わせ下さい。

次号の予告 「生活文化賞」の受賞など
～6月下旬に発行予定～

次号の「おてだま」No14は、次ぎのような内容を予定しています。発行予定は6月下旬です。ご期待ください。

- ・日本生活文化大賞「生活文化賞」を受賞
- ・その他「美しいまちづくり賞」の受賞も
- ・こどもの日の「ゆうパック」にお手玉が
- ・第10回全国お手玉遊び大会のご案内
- ・各支部・会員からの「お便り」紹介ほか

読者の皆様のご投稿をお待ちしております。5月21日までに、原稿を事務局までお寄せください。



発行・編集

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL・FAX/0897-36-0600

E-mail: tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ

http://www.shikoku.ne.jp/otedama/